

## 学術ポータル担当者研修レポート (鳥取大学)

### (1) 発表資料の状況設定

情報委員会下のワーキンググループ会議（教員等）において、機関リポジトリの必要性と PR を実施し、今年度学内予算獲得と学内合意形成を得る。

### (2) 発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改訂部分

#### ・発表内容抄録

鳥取大学では、機関リポジトリ構築に向け、平成 18 年度より情報委員会下のワーキンググループ会議において検討され、実施に向けてシステム構築や設置要綱等検討中である。今回のワーキンググループ会議において、参加委員にリポジトリの再認識と著作権処理の問題やシステムのカスタマイズ経費についても投げかけ、運用の早期実現にむけてプレゼンを実施する。

#### ・研修当日の講師からの助言

経費については、必要最小限の経費で構築可能であること印象づける方が良く、とご指摘いただいた。

#### ・研修発表との改訂部分

○必要経費を今年度実現可能なところに変更。

○著作権部分の説明を追加。

○他大学のリポジトリ状況画面を追加。

### (3) リハプレゼンの概要（日時、場所、発表者、発表対象、参加人数）

日 時：12月19日（水） 10:30～

場 所：附属図書館会議室、医学図書館会議室 TV 会議

発表者：金子尚登図書館情報課医学情報係員

発表対象：平成 19 年度第 1 回リポジトリ WG

参加人数：

【委員】地域学部教員 2 名、工学部教員 2 名、農学部 2 名、医学部 1 名、  
乾燥地研究センター教員 1 名、総合メディア基盤センター教員 1 名、  
研究国際協力部職員 1 名、附属図書館職員 2 名

【事務】附属図書館職員 6 名

合計 18 名

※リハプレゼンではなく、情報委員会（常置委員会）下のワーキンググループ会議で発表。

#### (4)プレゼンへの反響（感想の声）

- 研究費申請等を行う場合の評価は申請者のホームページを参考にされることが多いので、機関だけではなく個人を押し出すような形式を考えるべきである。
- 研究者総覧等のデータベースや個人のホームページとリンクし、重複入力が無駄をなくすことが大学と個人双方にメリットがあるとの意見が出された。
- ワーキング会議の説明であれば、コンパクトにまとまっている。
- 機関リポジトリの仕組みを具体的に見たかった。(パソコンの不具合で他大学の紹介ができなかった。)
- 教材等登録するコンテンツがあるが、登録可能な形式も明記する必要がある。
- 他システムとの連携と説明しているが、この予算内で可能なのかとの質問があったが、今年度に基本環境を整備し、今後の課題とするとの回答。

ワーキンググループ会議では、設置要項、システムのカスタマイズについて承認され、導入ソフトの仕様、運用体制、運用方針を WG で検討し、システム検証も実施していくこととなった。また、経費についても情報委員会において今年度予算で認められた。

#### (5)その他（受講者名・受講者番号・所属機関名）

受講者名： 6-1 金子 尚登 鳥取大学学術情報部図書館情報課医学情報係  
6-2 森田 正 鳥取大学学術情報部図書館情報課総務係  
6-3 山根 智子 鳥取大学学術情報部図書館情報課学術情報係